

平成十五年

市外―上野丘と県立図書館

平成十五年（二〇〇三）十一月二日（日）、平成十五年度市外（大分市）史跡見学会を開催した。参加者数は五〇名。

午前は大分市金池の万寿寺、上野丘の円寿寺および金剛宝戒寺を見学し、宗尊幸さんの説明を拝聴し同住職を囲んで記念写真を撮った。

午後は大分県立図書館へ行き、平成十五年度秋季企画展記念講演会に参加、県立先哲史料館主任研究員鹿毛敏夫氏の報告・「大友水軍と環シナ海世界」、及び東京大学大学院教授村井章介氏の講演・「鉄砲伝来と大分」を聴講した。次いで館員の案内により図書館内を見学、一階展示室で平成十五年度秋季企画展・「大友水軍」を見学して、一七時頃別府へ帰着した。

《見学会感想》

歴史の道を探ねて

安光良子

秋晴れのもと、別府史談会市外史跡見学会に非会員（会員

の妻）として参加させていただきました。

バスは十号線ぞいの山並み、宇佐平野を見ながら一路歴史博物館へ。「南無阿弥陀仏―浄土への道」を渡辺先生の説明を聞きながら拝見し、六、七百年前の人々の念仏の声を私にまで届けて下さったはからいに改めて感謝し、また一真宗寺院の坊守としても大変勉強になりました。

つづいて宇佐神宮、大善寺へ。ここでは寺院様から湯茶の接待を受け、ほっと安らいだ気持ちになりました。自坊では、桜の季節のみですが、年中では大変だろうなと思いつつ感謝しながら戴きました。

一服の後、大楽寺へ。本尊の弥勒仏と秘宝まで拝観出来、これもこの会なればこそで、うれしく思いました。

大楽寺を後に、バスは刈り取られた田圃の中を走り青宇田の画像石へ、ここを見ききするのは初めてで、民衆の熱い信仰心が、このような形で残っていることに感動しました。

次の長安寺は三度目でしたが、いつ来ても裏山の景観にはほっとします。また法筐印塔、そしていつも石段の上とは思いますがも行けなかった百四十段の階段をのぼり、国東塔を拝見出来たことには、何よりも満足をおぼえました。

最後になりましたが、この見学会にご縁をいただき、あり